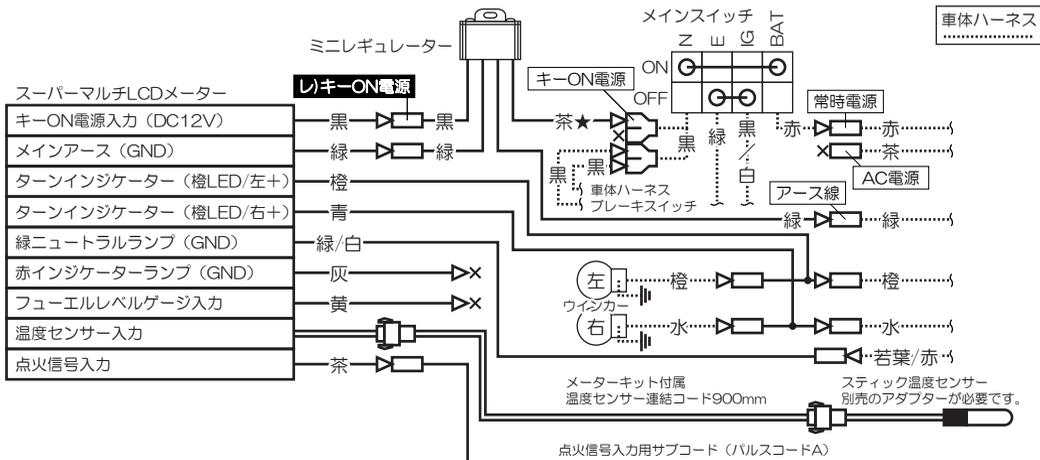


レギュレーター追加付属のメーターキットご購入の方はメーター品番ご確認の上、接続図を確認して下さい。

★マークは接続箇所と色が異なりますので、ご注意ください。

※ブレーキスイッチを誤ってミニレギュレーターの出力側に接続すると消費電流の上限値を超えますのでご注意ください。



プラグはレジスタータイプを使用してください(イリジウム可)。  
 ハイテンションコード、イグニッションコイルもノーマルをご使用ください。  
 ノイズが表示の乱れや故障の原因となってしまう可能性があります。

赤	Red	灰	Gray
黒	Black	黄	Yellow
緑	Green	茶	Brown
橙	Orange	水	Light Blue
白	White	若葉	Light Green

ハイテンションコードに10mm~20mm沿わせて、  
 タイラップ等で固定して下さい。  
 正しい数値を示さない場合、調整の必要があります。  
 メーター本体の設定値は"2C-1P"です。  
 詳しくはメーター本体取扱い説明書でご確認ください。





**SUPER MULTI**  
**LCD**  
**METER**  
スーパーマルチLCDメーター

### メーター本体取扱説明書

本書はメーター本体に関する説明書です。  
主に各機能の操作方法、取り扱い注意事項、配線図等を記載しております。  
付属品内容や車体への取り付け方法、配線等につきましては  
[スーパーマルチLCDメーターキット取扱説明書]  
の方に記載しております。

このたびは、TAKEGAWA商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

☆使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。  
◎この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

☆注意

この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法的速度を守り違法運転を心掛けて下さい。  
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)

☆警告

- この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
  - ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。  
(事故につながる恐れがあります。)
  - ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。  
(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
  - ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。  
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
  - ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。  
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
  - ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。  
又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

◎クレームについては、商品に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後3ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて戴きます。ただし交換工賃等の一切の費用は対象となりません。正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。

◎リビルドサービス (有料修理)

本製品の構造上、短期間での修理が困難な場合が多い為、修理依頼に関しましては故障品とリビルド品(再生品)とを交換するサービスで対応させていただきます。リビルド代金は修理の度合いに関わらず故障品単価の50%(当社からの返送料、代引き手数料込み、消費税込み)で一定となります。

なお、以下の場合リビルドサービスをお受けできません。

- ・商品の破損が激しく、部品が紛失している、修理不能品の場合。
- ・故意に商品を破壊、又は損傷させた場合、その痕跡がある場合(お客様自らメーターを分解し修理を試みた場合など)。

◎本製品販売終了後長期間経ちますとサービスを行えない場合があります。ご了承ください。

リビルドサービスの手順

1. まず故障内容を当社までご連絡下さい。
2. 故障内容(出来るだけ詳しく書いてください)と、考えられるその原因 ●使用車種、使用状況 ●お客様の住所、連絡先(お電話させていただく場合があります)を記入していただいたメモと一緒に故障品を当社まで送ってください。
3. 弊社までの送料はお客様の方でご負担願います。輸送中の破損が起こらないように包装してください。  
当社で故障品を確認し、リビルド品を商品代引きで返送させていただきます。

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16 株式会社スペシャルパーツ武川  
(TEL)0721-25-1357(代) (FAX)0721-24-5059

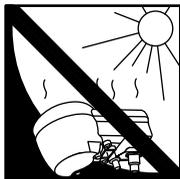
当社商品でも取り扱い説明書にリビルドサービスについて記載している商品のみが対象で、記載の無い商品に関しましては行えませんのでご注意ください。

◎この取り扱い説明書は、本商品を破棄されるまで必ず保管下さいませお願い致します。

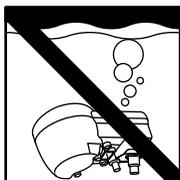
## ご使用にあたっての注意点



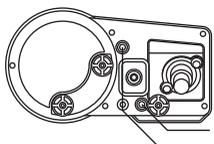
本製品はデジタル回路を使用した精密機械です。誤ったご使用は故障の原因となります。必ず取扱説明書内容すべてをご確認、ご理解の上でご使用ください。



◎本製品のボディーは樹脂製です。  
風化を防ぐ為に長期、野外にバイクを置く場合はカバー等をかけてください。炎天下の中など、過酷な条件下で長期放置放置しますと、樹脂やゴム製部品の劣化や変形が考えられます。



◎本製品は完全防水ではありません。  
本体に水が入ってしまった場合は直ちに使用を止め、完全に水分を乾燥させてください。  
また、湿度が高い場合、急激な温度変化があった場合などに本体が湿気を吸い込み画面がに曇りが発生する事があります。



本製品は、パネル内面に曇り止め処理をし、また、入ってしまった湿気が外に出られるようボディー裏面に湿気の吸出し口を設けております。

— 湿気吸出し口



◎絶対に分解しないでください。  
大変危険ですので分解や改造を行わないでください。  
また、お客様で分解された場合、商品修理をお受けする事も出来なくなってしまうます。



◎激しい衝撃を与えないで下さい。  
オフロード走行やジャンプなど、メーターに伝わる衝撃がとても強い行為は行わないでください。衝撃によっては内部不品の欠落、ボディーの損傷の恐れがあります。



◎お手入れについて  
頑固な汚れがある場合は水に少量の中性洗剤を溶かし、ゆっくり丁寧に汚れを落としてください。  
揮発性のあるもの（シンナー・アルコールなど）やコンパウンドで掃除しますと、パネル等が曇ってしまいますのでご注意ください。

本製品は下記の機能一覧にあるように、様々な機能を装備しております。さらに複数の機能を組み合わせによる新機能を追加しております。

## SPEED-METER

●スピードメーター	ノーマルのスピードメーターケーブルをそのままご使用頂けます。
●最高速度記録	自動で最高速度を記録。消去可能
●オドメーター	～99999km(1km単位)
●トリップメーター	～999,9km(100m単位) 消去可能
●速度警告灯	指定速度に達するとモニター照明色が変わります。指定範囲(5km/h単位)：5～250km/h
●速度誤差補正	速度表示の[ズレ]を補正することが出来ます。 タイヤ種類の変更や、ホイールインチのアップやダウンを行った際にスピードメーター側で補正することが出来ます。補正範囲：50%～210%(1%単位)

## TACHO-METER 電気式タコメーター

●回転警告灯	指定回転数に達すると[レッド]インジケーターが点灯します。 -500rpm時に[イエロー]の予備警告。指定範囲(100rpm単位)：3000～16000rpm
●最高回転数記録	自動で最高回転数を記録。消去可能
●透過式LED夜間照明	照明色切り替え可能[ブルー][オレンジ][レッド]
●設定変更可能	クランクシャフト1回転あたりの発火回数を設定。設定範囲：1～12回

※ [回転警告灯の点灯タイミング、最高回転数の記録]と[指針の示す回転数]を比較した場合、指針の示す回転数に若干の[遅れ]や[ズレ]が生じてしまいます。これは電気式タコメーターの指針を作動させる構造によるもので、本体の調整不良や故障ではありません。あらかじめご了承ください。

(デジタル回路のみで管理を行う為、回転警告灯の点灯タイミング方が指針より正確に作動しております。)

## THERMO-METER 温度計 測定範囲：0～150℃

●温度警告灯	指定温度に達するとモニター照明色が変わります。指定範囲(1℃単位)：50～150℃
●最高温度記録	自動で最高温度を記録。消去可能

## POWER TRY SYSTEM タイム測定は前輪の回転速度、回転数の計算値で行う為、実測記録とは多少異なります。

●完全自動加速測定	フロントホイールの回転開始に連動し計測スタート。 目標速度(距離)に達すると自動で計測ストップ。
●目標速度到達タイム測定	停車状態から任意の速度に達するまでのタイムを測定。 目標速度設定範囲(5km/h単位)：30km/h～200km/h
●目標距離到達タイム測定	停車状態から任意の距離に達するまでのタイムを測定。 目標距離設定範囲(1/32マイル単位)：1/32(≒50m)～8/32(≒400m)

## OTHERS

●ガソリン計	・[表示無し]・[100Ωtype]HONDA車等・[510Ωtype]YAMAHA車等 切り替え
●インジケーターランプ	[グリーン]ニュートラル [オレンジ]ウインカー [レッド]オイル警告など
●時計	24時間表示

## A3

## 速度検知方式

- センサーの取り付けを考えなくて良い、ケーブル式速度検知方式。
- ホイールサイズ、タイヤ種類変更に対応。
- 多信号/ホイール1回転

### ● スーパーマルチLCD のよくある従来型

● ケーブル式スピードメーターはJIS規格がある為、ほとんどの国内車両はメーター側の取り付け部形状、ケーブル回転数設定が同じです。本製品はケーブル式を採用している為、スピードセンサー等を新たに付ける必要はありません。また、ホイールサイズやタイヤ種類が変わった場合にも、[50~210%]の範囲で補正することが出来るため、メーターギアBOXを交換する必要はありません。

○ フォーク、ホイール形状がバイクそれぞれで異なるため、スピードセンサーやその対象物の取り付けが難しい。

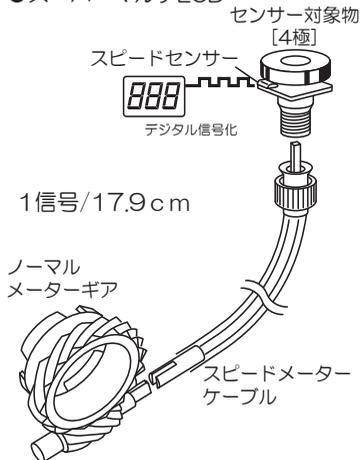
- スーパーマルチLCD のよくある従来型

1信号/17.9cm ⇔ 1信号/1400cm?

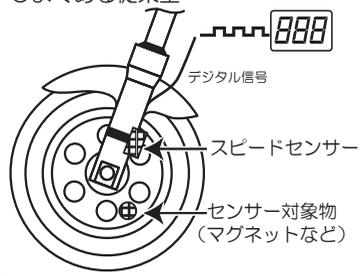
● 本製品はケーブル1回転辺り4信号を得る為、50ccスクーターの場合ホイール1回転辺り約7信号となります。従来型でホイールにセンサー対象物を7個も取り付けられた時と同じ信号数という事です。ちなみに17インチクラスですと約10信号を得ることが出来ます。正確に設定をしますと、車両が17.9cm進む毎に1信号が出る計算となります。

○ センサー対象物の数が少ないと、誤差が大きくなります。例えば10インチのホイールのバイクにセンサー対象物1つ付けた場合約1400cm進む毎に1信号しか得られません。これでは発進時や速度変化に対する反応が甘くなってしまいます。

- スーパーマルチLCD

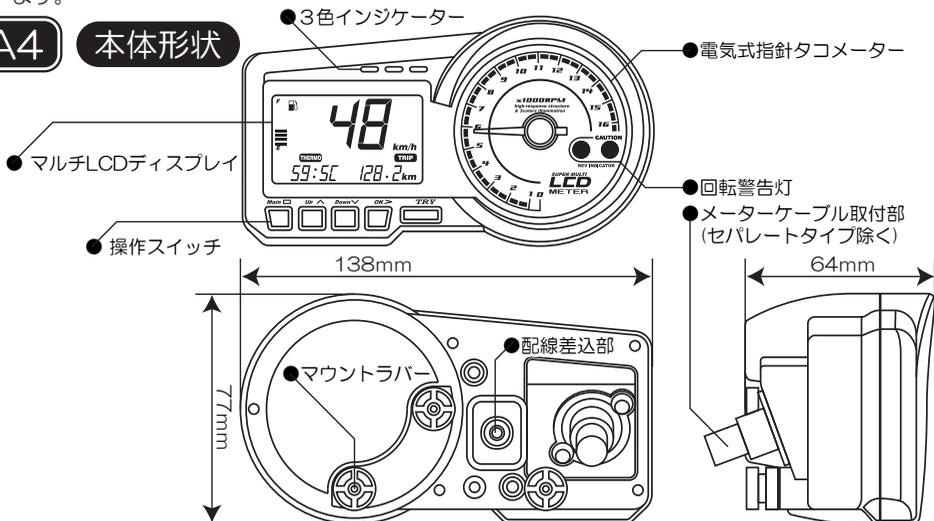


- のよくある従来型



## A4

## 本体形状



メイン画面

操作はメイン画面が基準となります。  
メイン画面の内容は[A6]に記載しております。

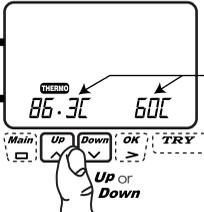


30秒  
30秒の間スイッチを1回も押さなかった場合は、自動でメイン画面に戻ります。

いつでもどの画面時でも **Main** を押すと必ずメイン画面に戻ります。機能の設定や確認が終わった際などに押してください。



ページ選択画面



**Up** / **Down** で設定、又は確認したいページを選びます。

例) 最高温度記録と警告指定温度があります。[ページセレクト画面]の段階で内容を確認できます。確認だけで良い場合、**Main** を押すと[メイン画面]へ戻る事が出来ます。記録の消去や指定温度の変更をしたい場合は下記[セットアップ画面]に進んでください。

メイン画面から順にページが変わります。1周するとメイン画面に戻ってきます。[A7]で各ページの内容を確認してください。

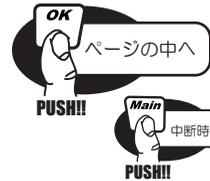


セットアップ画面

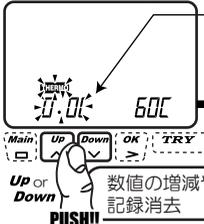
**THERMO** [セットアップ画面]に進むとページマークが点滅します。



**OK** で上で選択したページのセットアップ画面に進みます。



作業



例) 最高温度記録消去  
点滅中の項目の数値変更や記録消去が出来ます。



**OK** を押すと次の項目に進みます。

例) こんなターンの時もあります。



パワートライ画面

点滅中 点滅中であれば、パワートライの準備完了です。バイクが発進すると時間測定がスタートします。

点滅無し 点滅無しの場合は、測定できません。測定したい場合は時間記録を消去してください。  
**OK** を押すと測定記録は消去されます。



**TRY** を1回押すと [パワートライ画面]の<目標速度到達時間測定>に進みます。

**TRY** をさらにもう1回押すと [パワートライ画面]の<目標距離到達時間測定>に進みます。

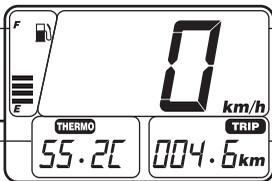
<目標速度到達時間測定> 30km/h~200km/h : 5km/h単位  
<目標距離到達時間測定> 1~8/32mile(≒50m~400m) : 1/32単位  
目標速度、目標距離の変更は **セットアップ画面** の方でいきます。



通常照明 温度警告時 速度警告時 両方警告時



＜ガソリン計＞  
非表示にも  
出来ます。



＜スピードメーター＞  
km/h表示、最高表示速度：約250km/h

＜トリップメーター＞

＜オドメーター＞  
ODO 1250 km

＜最高速度記録＞  
SPEED 86



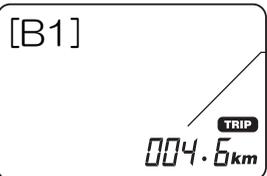
＜温度表示＞  
THERMO 55.2°C

＜時計表示＞  
TIME 12:05

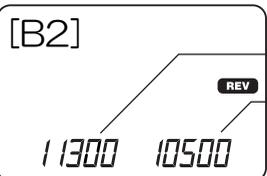


【メイン画面】で「OK」を押す度に  
温度⇄時計と切り替わります。

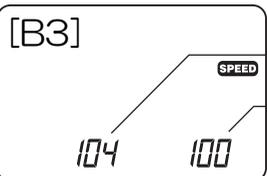
先に「Main」を押した状態で



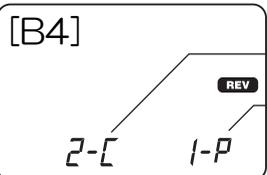
トリップページ  
●トリップメーター  
記録の消去



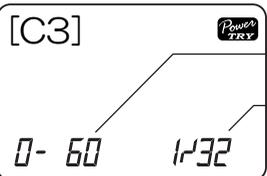
回転数ページ  
●最高回転数記録の  
確認と消去  
●レフィンジケーター  
警告回転数の数値設定  
警告回転数に達した時に、  
【赤】インジケーターが点灯します。  
-500RPM時に予備警告【黄】が点灯。



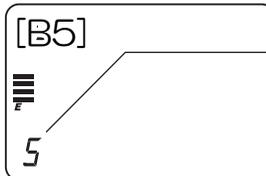
速度ページ  
●最高速度記録の  
確認と消去  
●スピードアラーム  
警告速度の数値設定  
スピードが警告速度に達した場合、  
LCD照明色が【紫】に変わります。



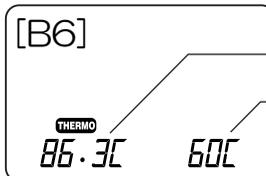
タコ設定ページ  
●エンジン種類の選択  
2サイクル又は4サイクル  
●気筒数の選択  
※エンジン種類、気筒数の設定値は  
実際と異なる場合があります。  
4サイクル1気筒車の場合は通常、  
2-C、1-Pとなります。



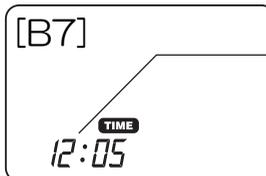
パワートライページ  
●目標速度数値設定  
30km/h～200km/h <5km/h単位>  
●目標距離数値設定  
1～8 / 32mile (≒50m～400m)  
<1/32単位>



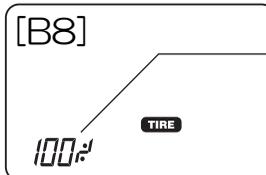
ガソリン計ページ  
●ガソリン計の設定  
1 [100Ω] type  
5 [510Ω] type  
7 ガソリン計表示無し



温度ページ  
●最高温度記録の  
確認と消去  
●温度アラーム  
警告温度の数値設定  
温度が警告温度に達した場合、  
LCD照明色が【紫】に変わります。



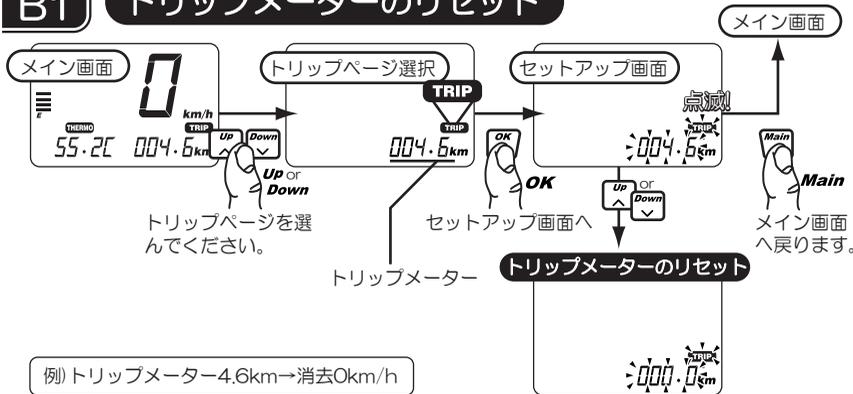
時計ページ  
●時計の時間調整  
24時間表示時計です。



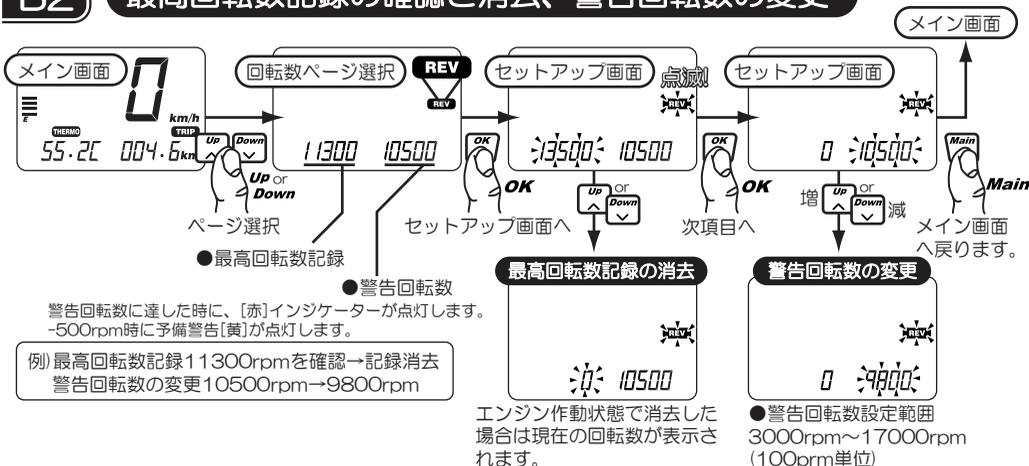
速度補正ページ  
●補正の数値設定  
標準 100%  
補正範囲：50%～210%

【B1】～【B8】、【C3】  
詳しい内容は各ページそれぞれの解説書  
で確認してください。

## B1 トリップメーターのリセット

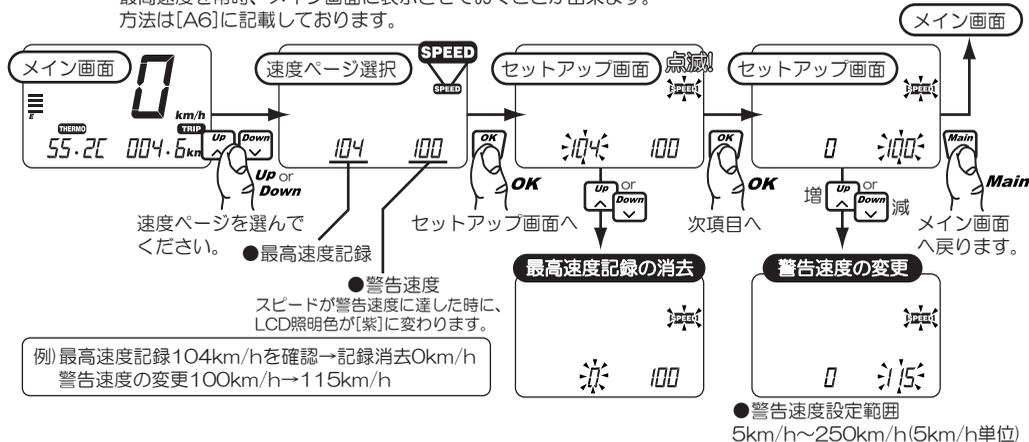


## B2 最高回転数記録の確認と消去、警告回転数の変更



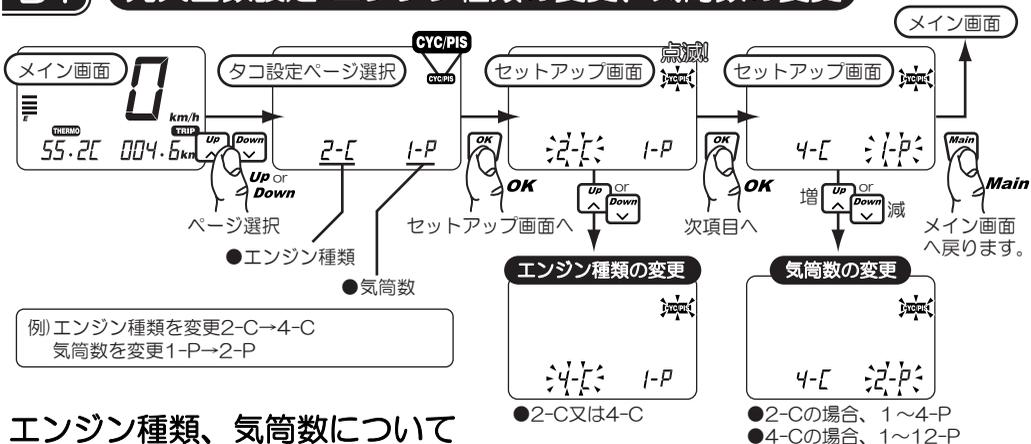
## B3 最高速度記録の確認と消去、警告速度の変更

最高速度を常時、メイン画面に表示させておくことができます。  
方法は[A6]に記載しております。



B4

発火回数設定>エンジン種類の変更、気筒数の変更



エンジン種類、気筒数について

ここでの[エンジン種類、気筒数]はクランクシャフト1回転回りの発火回数を表すための例えです。ですから、実際のバイクのエンジン種類や気筒数とは異なる場合があります。

0.5回はクランクシャフト2回転に1回発火を表しています。

クランクシャフト1回転あたりの発火回数	0.5回	1回	1.5回	2回	2.5回	3回	4回	5回	6回
2-C (2サイクルエンジンの例え)		1-P		2-P		3-P	4-P		
4-C (4サイクルエンジンの例え)	1-P	2-P	3-P	4-P	5-P	6-P	8-P	10-P	12-P

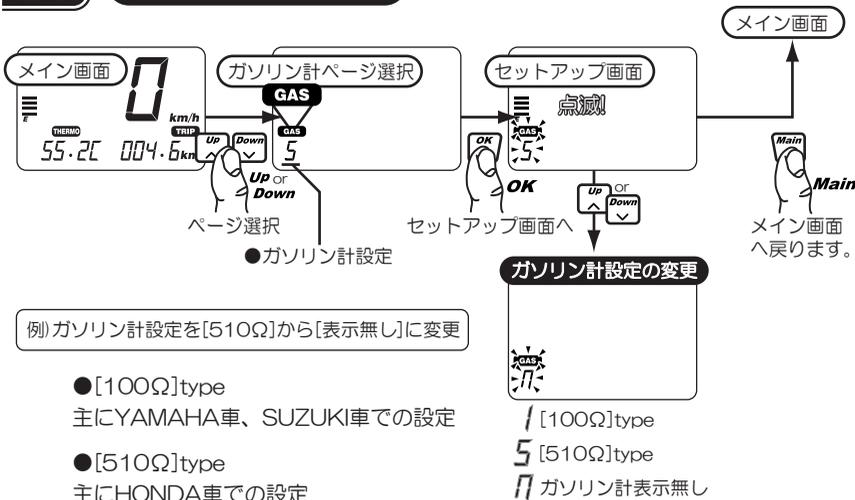
Pは気筒数の例え

●ご自分のバイクの発火回数分からない時  
エンジン種類は[2-C]固定で、まず気筒数を[4-P]に設定し、エンジンを軽くふかして表示数値を確認してください。気筒数4-Pでは大抵実際よりも少なく表示されますので様子を見ながら3-P → 2-P → 1-Pと数値を変えて行くと表示数値が増え、丁度良い設定が見つかります。

モンキー系エンジン、エイブ系エンジン、その他4サイクル1気筒、4気筒のエンジンの多くがクランクシャフト1回転あたり1発火ですので設定は[2-C 1-P]となります。  
2サイクル1気筒のバイクの一部やインナーローター装着車では、クランクシャフト1回転あたり2回発火の場合があります。

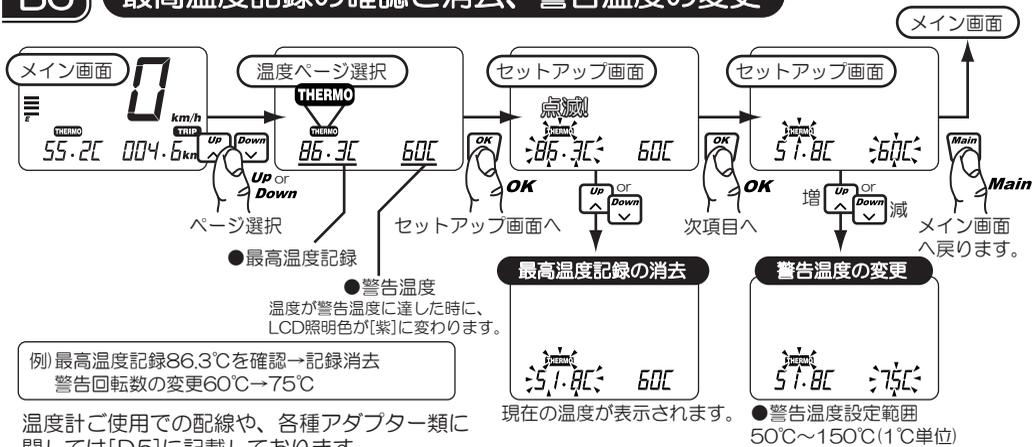
B5

ガソリン計の設定



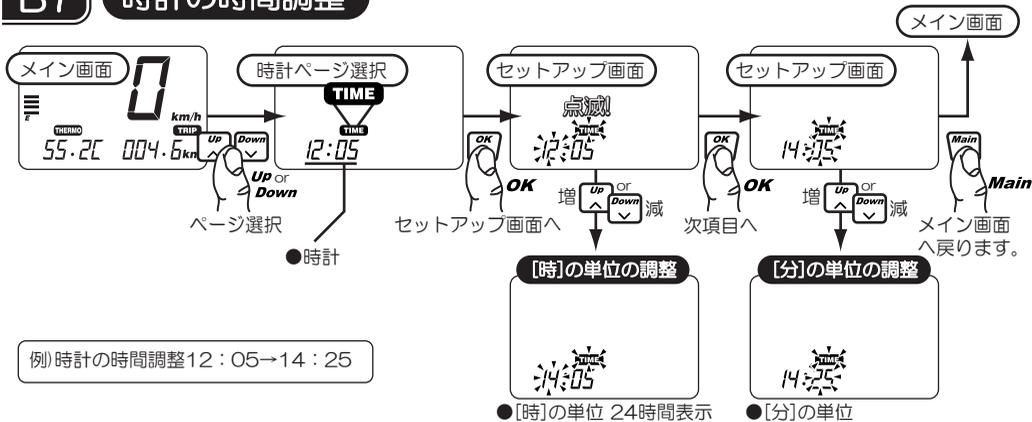
## B6

## 最高温度記録の確認と消去、警告温度の変更



## B7

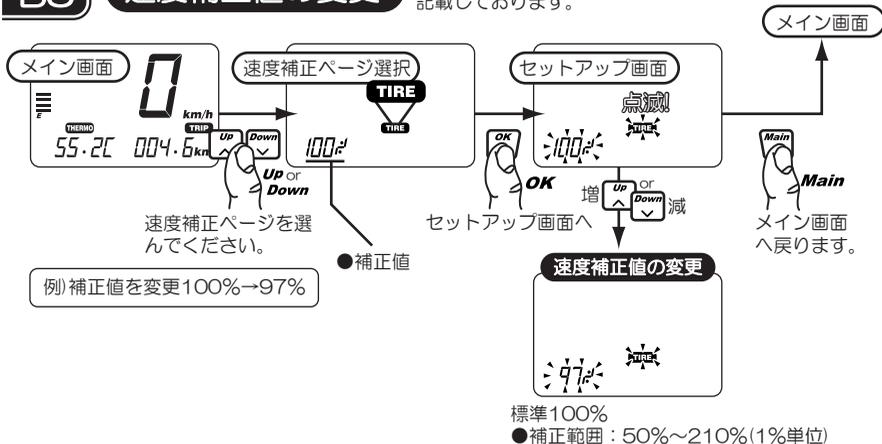
## 時計の時間調整



## B8

## 速度補正值の変更

速度補正值の調べ方を次ページ[B8-2]に  
記載しております。



# B8 -2 速度補正值(%)の調べ方

## 速度補正の必要なし

車種に関わらず、ノーマルのホイール、タイヤ、メーターギアBOXを使用している場合、大きな速度補正の必要はありません(※)。  
 また、他車種のホイール流用などの場合でも、そのホイール用のメーターギアBOXをセットで使用すれば、同様に大きな速度補正の必要はありません。

## 速度補正の必要あり

メーターギアBOXはノーマルを使用しながら、タイヤ周長がノーマルから変化した場合。  
 例) 社外品のインチアップホイールに交換した場合。  
 タイヤサイズを変更した場合。

※速度表示、加速測定をより正確にしたい場合は補正してください。  
 ホイール、タイヤ等がノーマルでも、タイヤの空気圧やメーターギアの都合上、多少ズレがあります。その小さなズレを補正することでより正確な測定が出来ます。

### 調べ方2 は次ページ

## 調べ方1

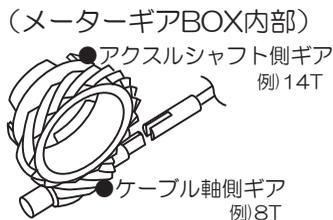
メーターギヤに対して適合するタイヤ周長を割り出し、現在装着している改造後タイヤ周長と比較する方法。

### 1.メーターギヤを分解してギヤ山数を数えます。

例) ホンダtoday(10インチホイール)  
 アクスルシャフト側 14T  
 ワイヤー軸側 8T



分解時に破損の恐れがあります。  
 十分に気を付けて作業を行ってください。



### 2.メーターギヤのギヤ比計算します。

アクスルシャフト側÷ワイヤー軸側=ギヤ比 例) 14T÷8T=1.75

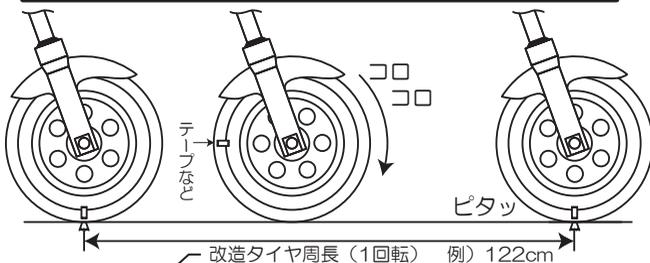
### 3.適合のタイヤ周長を計算します。

ギヤ比×71.4=適合タイヤ周長(cm) 例) 1.75×71.4≒125cm

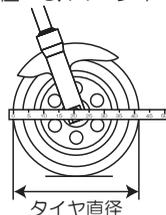
国内規格[速度60km/hの時、ケーブル回転数は1400RPM]から計算すると、ケーブル1回転あたりに車両の進む距離は71.4cmと決まっています。

●これで現在使用しているメーターギヤに対しての[適合タイヤ周長]が分かりましたので、次に現在、実際バイクに装着されている改造タイヤの周長(又は直径)を実測し比較します。

### 4.テープなどでタイヤと地面に印を付け、改造タイヤを1回転させてその距離を測ります。



タイヤ直径×3.14=タイヤ周長



改造後タイヤ周長 ÷ 適合タイヤ周長 × 100 = 補正值(%)

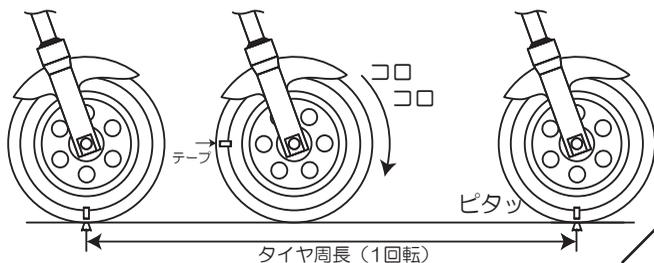
例) 改造タイヤ周長122cm  
 122cm÷125cm×100=97%  
 結果: メーターの補正值は97%。

## B8 -2

## 調べ方2

## ノーマルタイヤと変更後のタイヤを比較する方法

テープなどでタイヤと地面に印を付け、タイヤを1回転させてその距離を測ります。

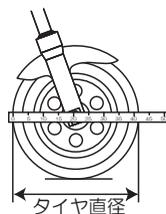


$$\text{改造タイヤ周長} \div \text{ノーマルタイヤ周長} \times 100 = \text{補正值(\%)}$$

調べ方1 は前ページ

ノーマルのタイヤ周長を調べることが出来ない場合は前ページの[メーターギヤから調べる方法]を行ってください。

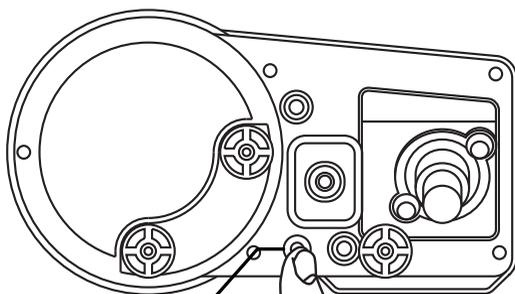
タイヤ直径からでも割り出せます。



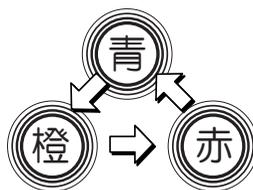
$$\text{改造後直径} \div \text{ノーマル直径} \times 100 = \text{補正值(\%)}$$

## B9 タコメーター照明色の変更

本製品はタコメーター部透過式夜間照明の照明色を変更することが出来ます。  
 本体裏面の下図の位置に照明色変更スイッチがあります。押す度に青、橙、赤に変わります。  
 ※LCDディスプレイの照明色は変更されません。



●タコメーター照明色  
変更スイッチ **PUSH!!**



# POWER TRY SYSTEM



## 警告

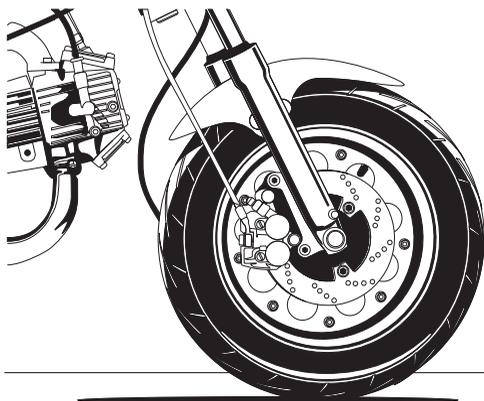
この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

一般公道では、法的速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。

加速測定は十分に安全を確保できる見渡しの良い場所で行なってください(貸切サーキット等)。

加速測定時は車両にとって、とても過酷な使用状態となります。その為、測定中に車両破損の可能性が非常に高くなります。走行前に車体の各部を良く点検してください。小さなトラブルでも、原因が分かりその問題が解決するまで絶対に測定を行わないでください。また、走行中にトラブルを感じた場合すぐに安全な場所に停止し、車両を点検してください。

本製品使用中に発生した事故、怪我、物品の破損等に関して如何なる場合においても当社は一切の責任を負いません。



## 完全自動測定

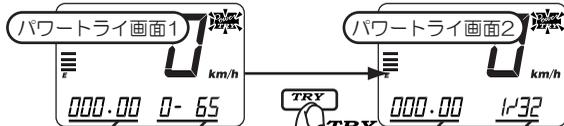
フロントホイールの回転開始に伴い時間測定開始、目標の距離、または速度に達すると時間測定停止。

## 重要

スタート時の誤差を少なくする為に測定は必ず前進状態から停止し、行ってください。

スピードメーターギア、ケーブル等には少しずつ遊びの部分(ガタ)があります。その為、後進後に停止した場合、次に前進した時すぐにメーターが速度を検知できず、それが測定結果に影響してしまいます。

一番右のスイッチを押すと、[パワートライ画面1]に表示が変わります。このスイッチをもう一度押すと[パワートライ画面2]となります。希望の測定を選択してください。



- 測定記録(秒)
- 目標速度(km/h)
- 測定記録(秒)
- 目標距離(mile)

## 目標速度到達時間測定

## 目標距離到達時間測定

目標速度、目標距離の設定は[C3]に記載

**Power Try**  
点滅

点滅中であれば、パワートライの準備完了です。バイクが発進すると時間測定がスタートします。

**Power Try**  
点滅  
無し

画面の左下に前回の測定記録が残っている為、測定できません。測定したい場合は測定記録を消去してください。

**OK** を押すと測定記録は消去されます。

- 走行場所、周囲の安全を良く確認し、スタートしてください。

本製品はフロントホイールの回転から計算している為、正確に測定するには必ずフロントアップしないよう走行してください。

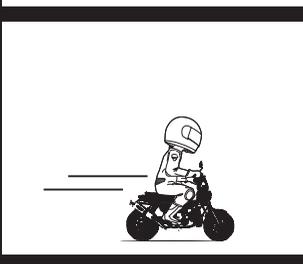
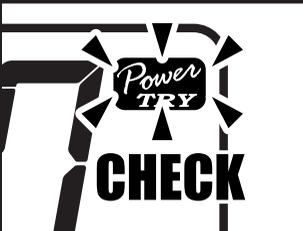
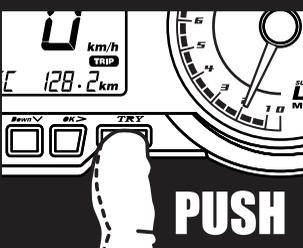
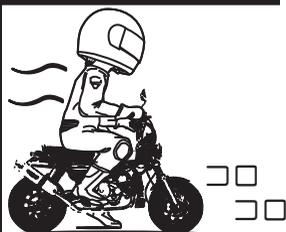
- 目標の速度、または距離に達した時点で時計は自動でストップします。
- 記録の確認は安全な場所に停止し、行ってください。

## ●再測定の方法

**OK** を押し、測定記録を消去しますと再測定出来ます。

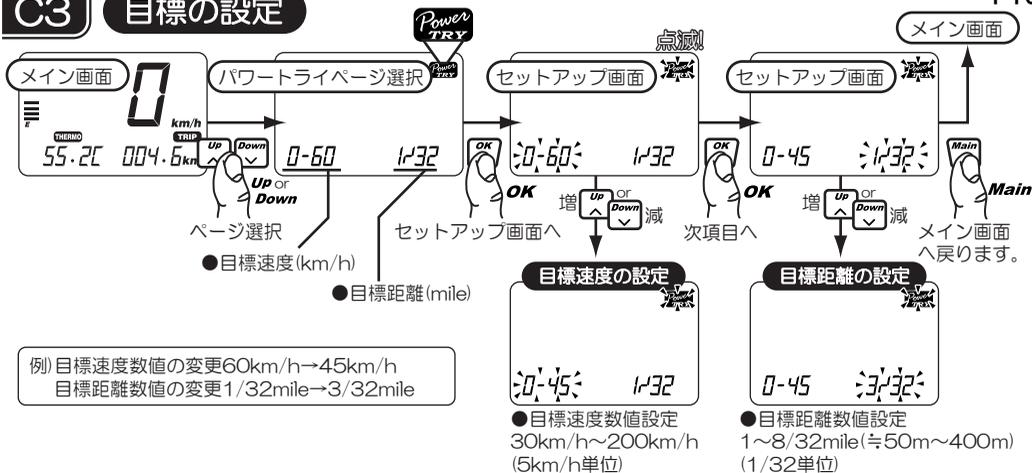
## ●測定途中に記録を止め、再測定したい場合

**OK** を押しと記録は止まります。もう一度 **OK** を押しこの記録を消去しますと再測定出来ます。



C3

目標の設定

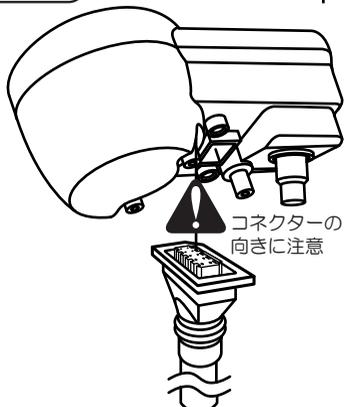


MEMO

# D1 配線接続図

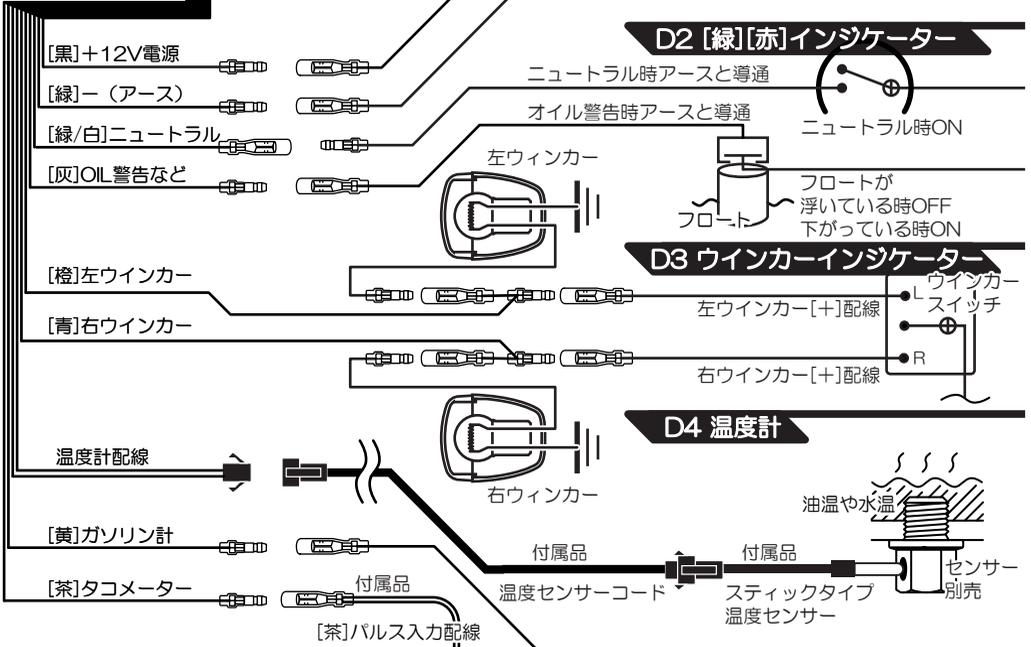
メーターケーブル側  
コネクタロック

コネクタを無理矢理、反対向きに差し込み、そのまま電源を入れますとメーターが故障する可能性があります。  
メーター本体側、ハーネス側それぞれのコネクタロックの向きに注意し、差し込んでください。



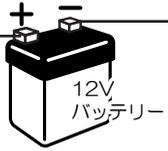
コネクタロック

コネクタの向きに注意



## D1 電源

メインキーON時  
12V電源と導通



マイナス配線(アース)

## D2 [緑][赤]インジケータ

ニュートラル時アースと導通

オイル警告時アースと導通



ニュートラル時ON



フロートが  
浮いている時OFF  
下がっている時ON

## D3 ウィンカーインジケータ

左ウィンカー-[+]配線

右ウィンカー-[+]配線



## D4 温度計

右ウィンカー



付属品  
温度センサーコード

付属品  
スティックタイプ  
温度センサー

センサー  
別売

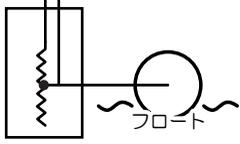
## D6 パルス入力

- メーター側で発火回数設定変更が必要な場合があります。
- 付属のパルス入力配線は約600mmです。市販のコードで代用できますので長さの足りない場合は別途ご用意ください。

イグニッションコイル



## D5 ガソリン計



フロートが浮くほど抵抗[小]  
下がるほど抵抗[大]

**イグニッションコイル  
1次側接続絶対禁止  
故障の原因となります。**

プラグはレジスタタイプ  
を使用してください。  
ハイテンションコード、イ  
グニッションコイルもノ  
ーマルをご使用ください。

- 本製品はコード巻きつけ専用機種です。
- パルス入力コードは必ずハイテンションコードに巻きつけてご使用ください。
- イグニッションコイルの1次側に直接接続しますとメーター故障の原因となってしまいます。

各車種のサービスマニュアルを基に作業を開始してください。  
そして、各車種の回路、配線先を十分理解した上で配線作業を進めてください。  
車種によっては参考配線と異なった接続が必要な場合があります。

**注意**

この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

- 配線の接続先に間違いがないか良く確認してください。未確認な接続は絶対にお止めください。
- 各配線の結線はギボシやコネクターを使用し、確実にこなってください。
- 使用しない配線はショートしないよう、絶縁テープなどで絶縁処理をしてください。
- 断線の恐れがありますのでバイクの可動部や発熱部での配線の取り回しが大丈夫な事を良く確認し行ってください。

**警告**

以下は無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 各配線を仮止め状態での試走は絶対にお止めください。
- 走行前に必ず動作確認を行ってください。また、定期的に各部の点検を行ってください。
- 走行中何かの異常が発生したと思われる場合はすぐにバイクを安全な所に停止し、異常箇所を点検してください。

---

# MEMO

## D2

## 電源の配線

作動用に12V電源への接続が必要です。メーターの配線色およびギボシサイズはホンダ車向けになっております。バイクによって配線を加工する必要があります。確実な接続の為にギボシ端子を使う事を推奨します。

## DC12V (12Vバッテリー搭載車)

12Vバッテリー搭載車の場合、正しい配線ではメインキーONだけでメーターの電源もONになります。メインキーONでメーターの電源がONにならず、エンジンを始動して初めて電源がONになる場合は配線が間違っています。起動時の指針チェック作動中はキーをOFFにしないで下さい。

バッテリー付車両で外品のバッテリーレスキットや性能の落ちたバッテリーを電源に使用しますと、過電圧により動作不良、本体故障の原因となります。絶対に使用しないで下さい。

## バッテリーレス車両 (AC12V電源)

◎ご使用には注意が必要です。バッテリーレス車両は電圧が安定せず、特に何かの電気トラブル時にはメーターに対して過電圧になる可能性が高い車両です。メーター保護の為に当社製ミニレギュレーターキットとの同時装着を特に推奨致します。ランプへの配線を遮断するだけの簡易ON/OFFスイッチは、OFF時に車両全体の電圧が上がってしまうので絶対に使用しないでください。保安部品外したレース用車両も同様です。

バッテリーレス車の場合は、エンジン始動に伴い電源がONになります。エンジン始動していてもエンジン回転数が低く十分な電圧が発生しない時、メーターは起動しません。必要な電圧に達するとチェック作動(指針が一度振り切り、0点に戻る)が開始されます。チェック作動中電圧が下がると起動を中断します。チェック作動完了後は、起動時よりも低い電圧でもメーターが作動を続けます。

## メーター電源について

誤作動抑止の為にメーター入力電圧10V以上を数秒間キープしてから起動を開始する仕組みを採用しています。起動中、チェック作動(指針が一度振り切り、0点に戻る)します。起動後は電圧が8.5V付近まで落ちてOFFにはなりません。

メーター内部には時計作動用と設定や走行距離などの記録更新用の2個の蓄電部品があり、稼動中に電気を蓄えます。メーターOFF直後、記録更新用電力を使い記録更新を完了します。更新完了後は長期放置により蓄電が空になっても走行距離や設定の記録は消えませんが、時計は停止します。ただし、記録更新用電力が空の状態(保存用の電気が無い)で電源のON/OFFを繰り返すと、電力の不足により記録が消えてしまうなど誤作動の原因となりますのでご注意ください。電源電圧によりますが起動後、数分で蓄電は完了します。1ヶ月に一度はメーターを数分間以上使用して下さい。

## キーON電源入力 (+12V)

## メーター黒コード

黒コードはメーター作動用電源で、キーのON時に12Vがかかる配線へ接続して下さい。

## メインアース (GND)

## メーター緑コード

緑コードはメーター作動用のアース配線です。車両のアース配線または、直接ボディーアースして下さい。

## 各メーカーの代表配線色 (※1)

	キーON電源	アース
HONDA	黒	赤/黒
YAMAHA	茶	黒
SUZUKI	橙	黒/白
KAWASAKI	茶	黒/黄

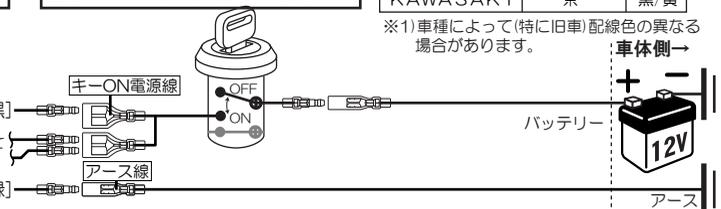
※1) 車種によって(特に旧車)配線色の異なる場合があります。

## メーター側

## キーON電源入力 (DC12V)

キーON電源として分岐しています。

## メインアース (GND)



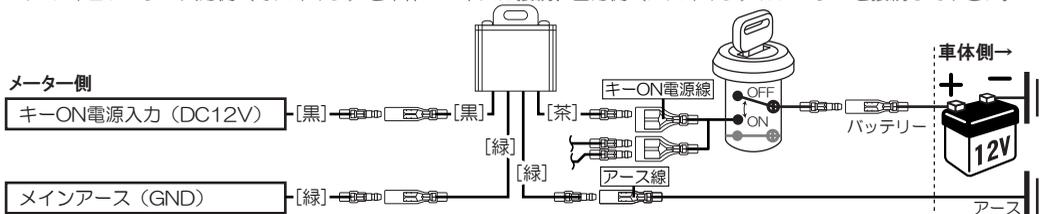
## ミニレギュレーター付属キット

ミニレギュレーターキットは車体側電圧AC40V(交流)またはDC40V(直流)までの車体側電圧をDC12Vに制御します。接続出来る消費電流値は1A(1000mA) 12V/12Vまでで、スーパーマルチLCDメーターは250mAとなります。ミニレギュレーター入力側(オスギボシ)を車体ハーネスに接続、出力側(メスギボシ)にメーターを接続して下さい。

## メーター側

## キーON電源入力 (DC12V)

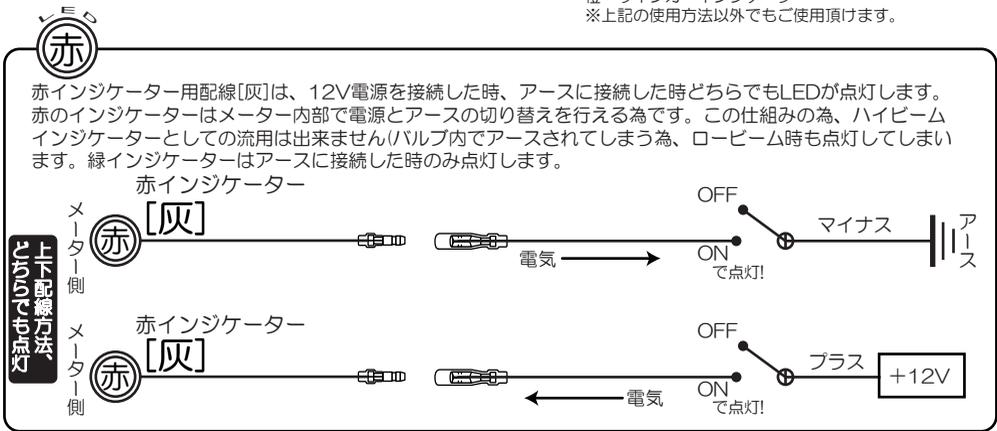
## メインアース (GND)



## 注意

あくまで車両電装系に問題が発生した時にメーター類を保護する為の補助レギュレーターです。電装系に過度の問題がある状態での使用を続けると純正レギュレーターが完全に制御能力を失う恐れがあり、本製品の最大入力電圧40Vを超える可能性がありますのでご注意ください

緑、赤、橙のインジケータを装備しています。  
 緑・ニュートラルランプ  
 赤・オイル量警告灯  
 橙・ウィンカーインジケータ  
 ※上記の使用以外でもご使用頂けます。



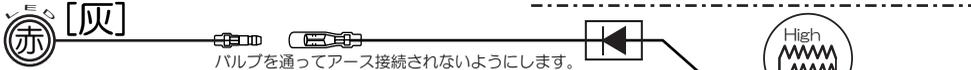
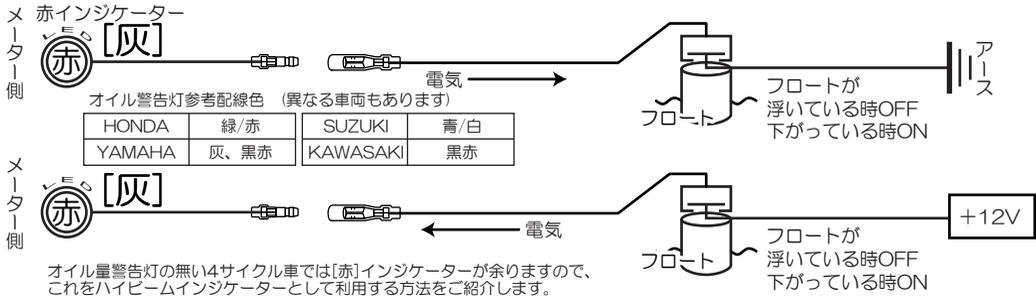
●ニュートラルランプで使用例

ニュートラル参考配線色 (異なる車両もあります)

HONDA	若葉/赤	SUZUKI	青/黒
YAMAHA	空	KAWASAKI	若葉



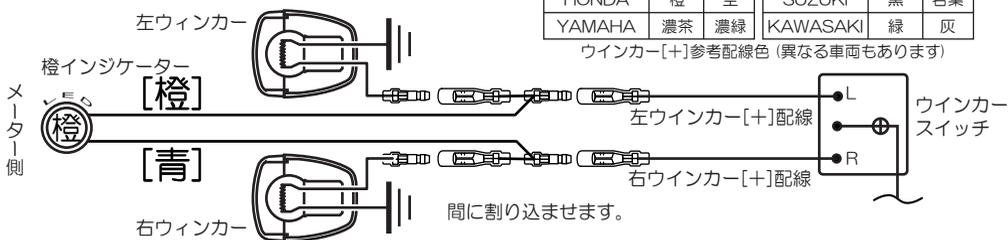
●オイル量警告灯で使用例 (2種類) 2サイクル車



橙インジケータは[橙]配線又は[青]配線を+12V電源に接続することで点灯します。ウィンカーのプラス配線の間に割り込ますように接続してください。

参考配線色	左	右	参考配線色	左	右
HONDA	橙	空	SUZUKI	黒	若葉
YAMAHA	濃茶	濃緑	KAWASAKI	緑	灰

ウィンカー[+]参考配線色 (異なる車両もあります)

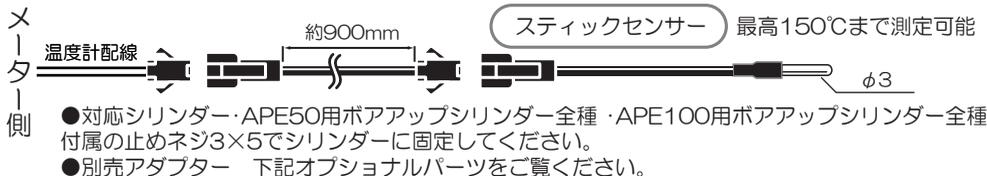


付属のスティックセンサーは当社オリジナル形状です。ご使用にはスティックセンサー差込口のある別売のアダプターやボアアップシリンダーが必要です。

また、取り付け車種、箇所に依りて別売オプションパーツをご用意ください。

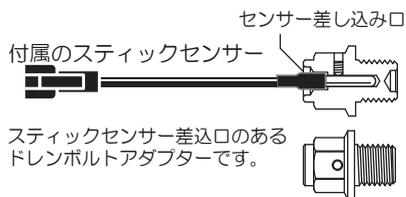


プラグは必ずレジスタータイプを使用してください。ハイテンションコード、イグニッションコイルもノーマルをご使用ください。センサーとプラグがとても近い取り付け場所の場合やレジスタータイプでも古いプラグを使用された場合はノイズにより表示温度が乱れる事があります。



### オプションパーツ(別売部品)

アダプター名	ネジ径	ピッチ	商品番号	価格
A1	12mm	1.5mm	07-04-054	¥1,050(税込)
A2	36mm	1.5mm	モンキー系、ドリーム50、エイブ系、エンジン専用。マグネット付き	¥3,570(税込)
A3	12mm	1.5mm	07-04-0542	各¥1,050
A4	14mm	1.5mm	07-04-0543	(税込)
A5	18mm	1.5mm	07-04-0544	



シーリングワッシャ 5枚セット	M12用：A1、A2用	07-040-0001	¥525(税込)
	M14用：A4用	07-040-0002	¥630(税込)
	M18用：A5用	07-040-0004	¥630(税込)



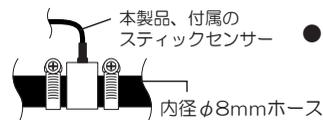
●B1センサー 07-04-055 ¥1,680(税込)

水温計又は水温警告灯付きの車両でSTDセンサーと交換して使用します。ネジ形状はPT1/8で多くの水冷車両に対応します。また、PT1/8センサーを取り付けるホースアタッチメント類も別売しています。



●温度センサー延長コード 07-04-0522 ¥525(税込)

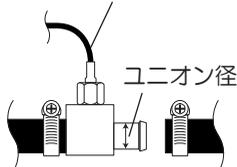
コネクターの間に接続してご使用いただく延長コード。(＋900mm延長)



B1センサー(別売)

●オイルクーラーホース 内径8mm用アタッチメント

07-04-0521 ¥2,730(税込)



●デジタル水温計アタッチメント

ユニオン径	商品番号	価格
14mm	07-04-14	各¥2,650 (税込)
16mm	07-04-16	
18mm	07-04-18	
22mm	07-04-22	
26mm	04-04-26	

## D6

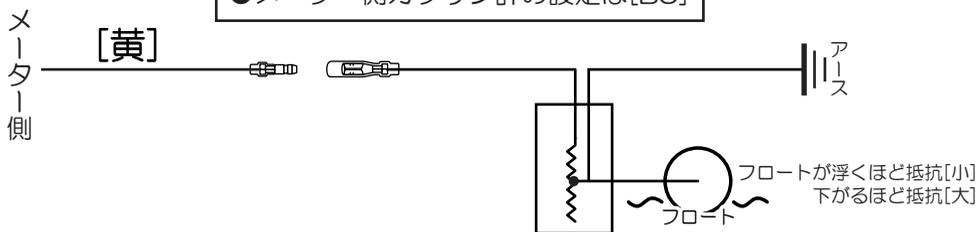
## ガソリン計配線

もともとガソリン計が装備されているバイクで、フューエルユニットの満タン時とガス欠時の[抵抗値]が本製品と合えばご使用頂けます。

主にHONDA車対応とYAMAHA、SUZUKI車対応の2種類の[抵抗値]を選択できます。

フューエルゲージが必要ない場合は「表示無し」を選んで頂けます。

●メーター側ガソリン計の設定は[B5]

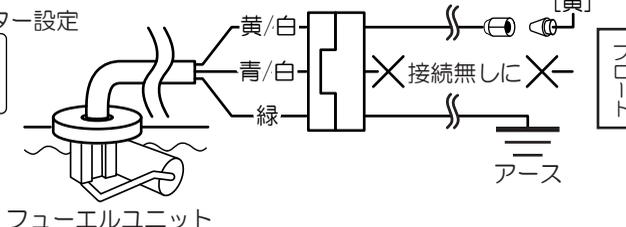


●車種別で配線色は異なる場合があります。

サービスマニュアルの配線図で配線の色を確認してください。

## HONDA車の例

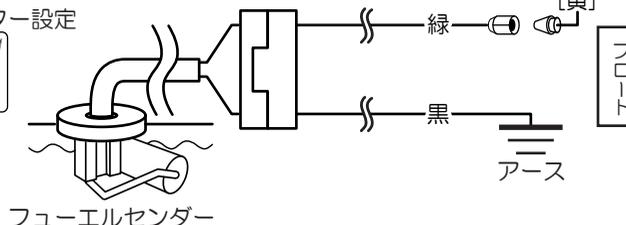
メーター設定



黄/白と緑の間	
フロート 上(F)	25~45Ω
フロート 下(E)	400~700Ω

## YAMAHA車の例

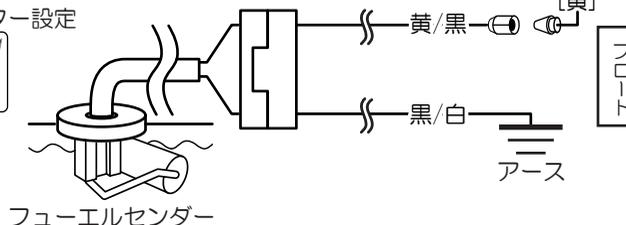
メーター設定



緑と黒の間	
フロート 上(F)	約10Ω
フロート 下(E)	約100Ω

## SUZUKI車の例

メーター設定



黄/黒と黒/白の間	
フロート 上(F)	約10Ω
フロート 下(E)	約100Ω

本製品はハイテンションコードより発火信号を読み取る電気式タコメーターです。  
発火信号の読み取りはハイテンションコードにパルス入力配線を巻きつけて行います。

## ⚠️ イグニッションコイル直接接続禁止

他の従来品(当社製含む)でイグニッションコイルの一次側に配線を接続する方法がありますが本製品では絶対に行わないでください。過電流によりメーターが故障してしまう可能性があります。

メーター側で発火回数設定変更が必要な場合があります。

●メーター側発火回数設定は[B4]

メ  
ー  
タ  
ー  
側

[茶]タコメーター線

付属品

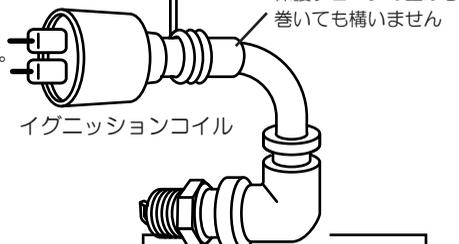
●付属のパルス入力配線は約600mmです。市販のコードで代用できますので長さの足りない場合は別途ご用意ください。

手順

[茶]パルス入力配線

保護チューブの上から巻いても構いません

- ・ハイテンションコードからプラグキャップを外します。
- ・付属のパルス入力配線をプラグから出来るだけ離れている位置で約1~5周巻きつけ、絶縁テープなどで仮止めしてください。本製品はとても少ない巻き数でも作動することが出来ますので、巻き数は作動状態を確認して調整してください。
- ・ハイテンションコードの保護チューブの上から巻いても問題ありません。
- ・テープで配線を仮止めしている部分に熱収縮チューブを通し、ドライヤーなどで熱し、チューブを収縮させてください。チューブの収縮温度は90℃以上で、約50%の内径まで収縮します。
- ・最後にプラグキャップをしっかりと取り付けてください。



イグニッションコイル

プラグはレジスタータイプを使用してください。ハイテンションコード、イグニッションコイルもノーマルをご使用ください。



危険

タンクにガソリンがあり、大変危険ですので、ライターなどの火を使いチューブを収縮させることは絶対に止めてください。

危険

配線仮止め状態での実走行は危険ですのでお止めください。

作  
動  
点  
検

●数値が実際と異なる場合

実際の回転数の約半分を指す場合や反対に2倍、3倍・・・と指す場合  
→発火回数設定の変更を行ってください。設定方法は[B4]

●作動が不安定な場合

原因は様々ですが主にパルス入力配線に発火信号以外の信号(ノイズ)の混入が原因と考えられます。この時、指針の指す数値はある回転数で実際よりも多くなるだけでなく、少なくなる場合もあります。

→主な原因はプラグ、イグニッションコイル、ハイテンションコードからのノイズの影響です。これらを純正品から点火強化品などに交換した場合、ノイズは増大します。特にプラグはレジスタータイプ(抵抗入り)以外を使用するとノイズはかなり強くなります。必ずプラグはレジスタータイプを使用してください。ハイテンションコード、イグニッションコイルもノーマルをご使用ください。

→パルス入力配線の巻き数、巻き位置を調整してください。

ノイズの悪影響がある場合に効果的なのは巻き数を減らす方法です。ノイズの影響が少なくなります。

配線を一回も巻かず、ハイテンションコードに沿わず程度で作動する車両もあります。巻き位置はプラグより出来るだけ離れている位置が推奨となります。

→エンジン振動が原因で、指針位置にズレが生じてしまっている可能性があります。取り付けステーにクッションを追加するなど工夫してください。当社製各車専用ステーを別な車種に流用した場合もクッションの強化が必要になる場合があります。車両によって振動の大きさ、共振回転数が異なる為です。

[回転警告灯の点灯タイミング、最高回転数の記録]と[指針の示す回転数]を比較した場合、指針の示す回転数に若干の[遅れ]や[ズレ]が生じてしまいます。これは電気式タコメーターの指針を作動させる構造によるもので、本体の調整不良や故障ではありません。あらかじめご了承ください。

(デジタル回路のみで管理を行う為、回転警告灯の点灯タイミング方が指針より正確に作動しております。)



まえがき	ご使用にあたっての注意点	A1
機能一覧		A2
速度検知方式		A3
本体形状		A4
基本操作方法	各機能の設定変更や内容確認方法手順	A5
メイン画面内容	切替方法：温度⇄時計、最高速⇄トリップ⇄オド	A6
ページ画面一覧	簡易説明	A7

トリップメーターの消去方法	B1
最高回転数記録の確認と消去、回転数警告灯の設定	B2
最高速度記録の消去、速度警告灯の設定	B3
発火回数設定	B4
ガソリン計の設定	B5
最高温度記録の確認と消去、温度数警告灯の設定	B6
時計の時間調整	B7
スピードメーターの速度補正	B8
速度補正值の割り出し方	B8-2
照明色の変更	B9

## POWER TRY SYSTEM

測定について	C1	
測定の手順	C2	
目標の設定	目標速度の設定	C3
	目標距離の設定	

配線接続図	D1
電源の配線	D2
[緑][赤]インジケータの配線	D3
[橙]インジケータの配線	D4
温度計	D5
ガソリン計配線	D6
パルス入力配線	D7

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東3-5-16

TEL(0721)25-1357 (代)

FAX(0721)24-5059

株式会社

SPECIAL PARTS

武川

<http://www.takegawa.co.jp>